



森ボラ 通信

第59号 2007年4月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■トピックス

◆ リンゴ園作業はじまる

2004年は収穫直前の台風18号で壊滅的な被害を受けましたが、お陰様で一昨年、昨年と平年並みの収穫を続けることが出来ました。今年も、トラブルことなく豊作を祈りながら、最初の枝切作業を3月23日(金)会員12名参加のもとに開始しました。

初日と2日目の4月3日(10名参加)は移動式チッパーの持ち込みが間に合わず、剪定鋏で手作業による枝切でした。気圧が不安定で、青空から雪、また青空へと急変するなか、みんな輪になって黙々と、時には沈黙に耐えかねてそれぞれの蘊蓄に花を咲かせ、また沈黙し枝切する姿は真剣そのもので、いつの間にか枝山が一つ一つ片付いて行きました。

まだまだ、シルバー世代のエネルギーは衰えていません、とは云うものの、未処理の枝山があちらこちらに、早く土に還して養分になってもらう大事な作業なのだ自分を納得させながら黙々と、気の遠くなる作業です。6日(10名参加)にチッパーを導入してからは捗り、7日(特別召集6名参加)で全ての枝切作業を終了させることができ、全員ほっとしていました。つぎの作業は、5月中旬、開花の時期です。花摘みにお集まりください。

リンゴ園の作業は天候が相手です。協会で組んだ日程が雨であったり、ずれたり、不足したり、必要とする時に人手がないことがたまにあります。今年はそれを補うべく、タスクフォースを募集いたします。

日程外で緊急に人手が必要になった時、電話連絡で都合がいい人だけが集まり作業する方法です。登録される方はアップル山荘の虎谷さんへご連絡ください。緊急時には、虎谷さんから電話連絡が行きます。

奮ってご参加ください。待ってます。



◆ ホタル見物するなら炭でも焼きながらしたらどうでしょう

炭焼きが始まります——そのI

炭焼きが本格的に始まるにあたって皆さんいろんなことが思い出されるはず。今度の企画も”ホタル見物するなら炭でも焼きながらしたらどうでしょう”ってなところから話が盛り上がってきました。オフシーズンには石狩森づくりセンターさんにお世話になって炭焼き座学もこなしました。

一方において札幌市西野環境緑地中心にニセアカシア萌芽の除伐作業が続いています。事務局がこの二つの活動をドッキングさせて「ニセアカシア材の炭焼き」プロジェクトを企画し、日本財団から移動式炭化炉、まき割り機の助成が決まりました。焼いた炭の用途まで含め楽しい炭焼きの活動アイデアをお寄せください。



炭焼き体験写真

森ボラのホームページの奥深くのアーカイブに炭焼き記録が残されており2003年9月4日となっていますから、かれこれ3年半前です。渡部さんの別荘で焼きましたが個人の思い出として炭は半生焼けだったけどキノコがたくさん採れたり山田温泉に入ったり楽しい合宿でした。

ニセアカ勉強会写真

これは北大で外来種ニセアカシアを研究していた女子学生と森林管理局の環境保全センターの方々と現地調査した時の写真で2004年9月1日。皆さん若々しく見えます。



炭焼きが始まりますーその2

“あなたたちが議論しているあいだに、私たちは木を植えます” これは例の”もったいない”のマータイさんの言葉です。除伐した木は腐ります。もったいないので炭にして熱源にすればその化石燃料は節約されます。土壌改良剤にすれば永く炭素は固定貯蔵されます。



ニセアカ除伐写真

この写真は西野環境緑地で倒伏したニセアカシアとその倒れた木から出てくる萌芽です。ニセアカシアの除去には巻き枯らしと萌芽切りの組み合わせ作業が効果的との情報が秋田から来ています。ニセアカシアは重いからいい炭ができそうです。抜群の比重です。

ニセアカシア 0.77
ミズナラ 0.67
トドマツ 0.42

炭袋用ラベル写真

除間伐がこの会の最も重要な活動です。ニセアカだけでなく澄川の活動地からはたくさんの優良薪炭材が出来ます。それをどう有効利用するか考えてください。バーベキュー用の炭として販売し活動費としたいがどなたかいい販売方法教えてください。(酒井)

◆活動本格開始です

4月18日は気温もぐんぐん上がりまたまた森ボラ日和でした。

本格的な森林ボランティア活動の開始で参加者は22名にもなり懐かしい顔が沢山ありました。まずはツボ足で硬雪渡りしながらの資材運びです。

メインの作業はシイタケの植菌作業で100本のホダ木に穴あけ、駒菌の打ち込み寒冷紗での蒸しホダして2ヶ月ほど寝かせます。来年の夏の発生が期待されます。

そして今日は3月に講義を受けた寺沢実北大教授による白樺樹液の実技授業です。シラカンバやイタヤカエデの樹液を採取し冷で飲んだり熱燗で飲みながら鍋の中でビール瓶につめ器具でパクリ栓をして保存です。

お昼は杉本さんのジンギスカンと湯沢さんのキノコ汁でした。(アルコールは各自持参のこととしましたが誰も飲んでる人はいませんでした。会員のレベルの高さを感じました。)

森で癒されるとはこうゆうことです。森の中で静かに歩くより作業したほうが3倍癒されると聞きます。

最後にニトリ助成の協会5周年記念事業で6月23日植樹祭の予定場所と「トラベルプランの森」の場所を皆で確認しました。

同時に、単箱にピンクのナンバーテープで番号つけを行いました。この春新しくかけた分をのこしましたが、これからの作業で全部に番号をつます。森林内は出来るだけ作業道沿いにかけていたので、折々の作業時に利用者(鳥もしくは他の生物)が確認された単箱の番号を事務局に報告してください。店子の種類も確認したいと願っています。ご協力方よろしくお願います。



■ 今月の幹事会

出席者：荻田、酒井、杉本(茂)、高野(豊)、津金、西野(悌)、棟方、山中、和田

1. 4月・5月作業スケジュール確認

18年度総会：平成19年4月23日(月)、15:00札幌リンケージプラザで実施予定。

2. ① 助成金交付決定

日本財団からの助成金交付の決定、関係書類発送完了しました。

事業名：外来種ニセアカシア撲滅の一環事業。

事業期間：2007. 4. 1～2008. 3. 31

完了時には、成果物(成果物の写真)とともに助成金に関する収支報告書及び領収書コピーを添付した完了報告書を提出する事になります。事業の記録・イベント情報・内容収録 ⇒ (担当：酒井)

② 2007年・全労災地域貢献助成金を申請予定。(4月10日締め切り)

事業名：除伐材活用のための集材設備。

事業期間：2007. 8. 1～2008. 7. 31

3. 4月の業務

- ・総会、理事会、ほか
- ・事務局引継ぎ業務、

4. 19年度事業の進捗確認

- ① しいたけ栽培：種菌を購入・植菌体制が整う。
- ② 巨木調査：予備調査が終了、16日に実測予定。
- ③ 澄川森林生態調査：調査票を標準化して全ての活動域で実施できる体制を準備する。

5. 4月の「ボラ通」記事担当。よろしくお願いします。

- ・リンゴ園開始記事(和田)
- ・澄川巣箱(高野)
- ・日本財団助成事業の推進(酒井)

6. 5月以降の事業(計画)

- ・支笏湖根踏み(セブン5/1)乗合・待合せ等
- ・秋山報告会出席(酒井・高野)
- ・二青会(子供参加)植樹会(澄川) / 5周年行事+昼食バーベキュー
- ・6月のスケジュール確認



■ おしらせ

◆ 5周年記念旅行 (〆切、5月25日、下記幹事まで要連絡)

5周年記念の一環として、下川町「FSC認証林」と「森林セラピー」体験ツアーを企画しました。下川町は北海道で最初にFSC認証を受けた林業の先進地で、その視察と森林セラピーの体感、更に、樹木の利用工場を見学いたします。挙ってご参加下さい。

1泊2日貸切バス16,000円。勿論、飲み会も有ります

9月11日(火)	9時00分	JR札幌駅北口発、高速道で一路下川町へ。
	12時00分	現地産の弁当にて昼食。森林ガイドウォーク・森林セラピーの体感
	18時00分	五味温泉(天候でスケジュール変更あり)
9月12日(水)	8時00分	FSC認証林視察・森林組合北町工場見学。
	12時00分	美深町仁宇布(ニユップ)に移動、昼食(バーベキュー)
	15時00分	帰路、18時30分JR札幌駅北口着・解散。旅行幹事：津金さん(090-2695-7455)、和田さん(090-6923-4549)

◆ 5月1日/支笏湖根踏み作業

9:30 澄川作業場集合、マイカー乗合い調整して出発します。
地下鉄利用者は、9:30 地下鉄真駒内駅に集合、支笏湖に向かいます。

◆ セブン・イレブン支笏湖植樹

5月20日(日)、集合要領は上記と同じです。植樹要領は去年の秋と同じです。1000本程度を植えます。ふるってご参加ください。

◆ 市環境緑地名の名称が変更になりました。

札幌市から4月1日付で名称変更の連絡がありました。(活動域関係分掲載)

旧	新
有明第2都市環境緑地	有明第2都市環境緑林
澄川都市環境緑地	澄川都市環境緑林

旧	新
西野第2都市環境緑地	西野第2都市環境緑林
野鳥の森(藤野)都市環境緑地	藤野野鳥の森都市環境緑林

■活動履歴

活動日	行事	参加人数	活動内容
4/18(水)	澄川	22	樹液採取、キノコ植菌、巣箱メンテ
4/13(金)	神社山	13	巨木調査
4/11(水)	澄川	9	風倒・懸木処理、巣箱清掃・補修、
4/9(月)	幹事会	9	事業確認、他
4/7(土)	リンゴ園	6	剪定補助
4/6(金)	リンゴ園	10	剪定補助
4/4(水)	澄川	12	風倒・懸木処理、巣箱清掃・補修、
4/3(火)	リンゴ園	10	剪定補助
4/2(月)	神社山		雨天中止
3/30(金)	リンゴ園		雨天中止
3/28(水)	木工	16	
3/27(火)	リンゴ園		雨天中止
3/23(金)	リンゴ園	12	剪定補助
3/22(木)	神社山	14	巨木調査

■ひとこま

◆澄川の巣箱(その2)

前月号で車道沿いの巣箱の点検結果を報告しました。その後、林内にかけた分の調査と修理をすすめましてほぼ全部の点検を終えました。結果は右表のとおりです。

道路沿いに比べて森林内はやはり使用率はほぼ倍増していました。蜂やエゾリス等の鳥以外の生物の利用を合わせると88%にも及んでいました。25ヶの内22ヶが使用されていたのです。不利用の3ヶは作りが雑で隙間が大きかったり、板が割れていたり、欠陥巣箱でした。まともなものであればほぼ100%使用していただけたと思われる結果であります。

全体では80ヶの巣箱を点検・修理しましたが、鳥に使用された数は34ヶで使用率43%でした。鳥以外の生き物の使用を含めた生物により使用された数は42ヶにおよび使用率としては53%でした。2つに1つは使用されていたことは驚きでした。

この結果は今後の巣箱づくりの励みになるばかりでなく、作り方の改善、場所の選択等参考資料として活用していただければ有り難いと思います。

道路沿いにはほぼ5ヶ間隔に入り口を車道に向けて、ゴミの不法投棄を牽制するためにかけてあります。これらが3ヶに1ヶが鳥達に使用されていたことは驚きものでした。家主としては大満足でありました。(高野 記)

項目	場所		計
	道路沿	森林内	
調査数	55	25	80
巣材に苔を使用	15	16	31
巣材に苔なし	3	0	3
鳥使用数	18	16	34
鳥使用率	33%	64%	43%
蜂の巣	2	4	6
エゾリス	0	2	2
生物使用総数	20	22	42
生物使用率	36%	88%	53%

